

# 情報知識学会 第 18 回 (2010 年度) 年次大会 (研究報告会および総会)

実行委員長 梶川裕矢 (東京大学)  
 委員 江草由佳 (国立教育政策研究所)  
 委員 高久雅生 (物質・材料研究機構)  
 委員 森純一郎 (東京大学)

本年の年次大会は、東京大学本郷キャンパスにおいて開催します。なお、事前の参加申込は不要です。直接会場にお越しください。皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日時：2010 年 5 月 15 日 (土)，5 月 16 日 (日)
2. 会場：東京大学 本郷キャンパス工学部 2 号館 (東京都文京区本郷 7-3-1)  
[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_04\\_03-j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_03-j.html)
3. 参加費：無料
4. 資料代：会員無料，一般非会員 3,000 円，学生非会員 1,000 円
5. 懇談会参加費：一般 4,000 円，学生 1,000 円

## プログラム (1 日目)

| 時間            | A 会場 (1 階 212 号室)  | B 会場 (1 階 211 号室)                        |
|---------------|--|--|
|               | A-1 「評価と選択」  | B-1 「情報知識と人間・社会」                         |
| 10:30 ~ 11:00 | オンライン書評と従来の書評との違いの分析<br>原田隆史 (慶應義塾大学文学部)，<br>吉村紗和子 (イー・モバイル株式会社)   | 環境・社会・経済のトリレンマ緩解論<br>沢恒雄 (遊工学技術士機構)      |
| 11:00 ~ 11:30 | Q&A サイトにおけるベストアンサー推定の分析とその機械学習への応用<br>石川大介 (国立情報学研究所)，栗山和子 (白百合女子大学)，<br>酒井哲也 (Microsoft Research Asia)，関洋平 (豊橋技術科学大学)，<br>神門典子 (国立情報学研究所)   | 社会変革の一般的構造<br>安平哲太郎 (産業技術総合研究所)          |
| 11:30 ~ 12:00 | Internet Archive の Wayback Machine を使ったホームページの分析<br>時実象一，杉浦友哉 (愛知大学)   | 人間の積極的に生きる能力を高めるために<br>福永征夫 (アブダクション研究会) |
| 12:00 ~ 13:00 | お昼休み   |  |
|               | C 会場 (1 階 213 号室)  |  |
| 13:00 ~ 17:40 | 記念シンポジウム「科学技術コモンズと情報知識学の挑戦」 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 開会挨拶「科学技術コモンズの構築に向けて」 岩田修一教授 (東京大学)</li> <li>● 基調講演<br/>               「科学技術コモンズと情報知識学への期待」 長尾真館長 (国立国会図書館)<br/>               「科学技術コモンズとオープンアクセス」 時実象一教授 (愛知大学)</li> <li>● 招待講演<br/>               「ライフサイエンスにおける統合データベースの構築と課題」<br/>               高木利久センター長 (ライフサイエンス統合データベースセンター)<br/>               「材料科学におけるデータベース共通プラットフォームの開発と課題」<br/>               芦野俊宏教授 (東洋大学)</li> <li>● 「コモンズ構築と利用のための知識表現」 Steven Kraines 准教授 (東京大学)</li> <li>● 特別講演<br/>               「コモンズに関わる法的課題」<br/>               野口祐子氏 (クリエイティブ・コモンズ・ジャパン常務理事)</li> <li>● パネル討論 モデレーター：橋本正洋氏 (特許庁)</li> <li>● 閉会挨拶 根岸正光会長</li> </ul> |  |
| 18:00 ~ 20:00 | 懇談会 (会場: 2F 展示室)   |  |

## プログラム（2日目）

| 時間          | A 会場（1 階 212 号室）  | B 会場（1 階 211 号室）  |
|-------------|---|---|
|             | A-2「人文情報知識学」  | B-2「計量書誌」   |
| 10:00～10:30 | 文芸批評の計量解析による批評行為の背景的特徴の抽出<br>村井源, 往住彰文（東京工業大学大学院社会理工学研究科）                 | 業績評価に向けた正規化インパクト・ファクター, “IDV: Impact Deviation Value”(インパクト・ファクター偏差値)の提案<br>根岸正光（国立情報学研究所）  |
| 10:30～11:00 | 星新一ショートショート文学の物語パターン抽出<br>佐藤知恵, 村井源, 往住彰文（東京工業大学大学院社会理工学研究科）              | 学術の国際化による日本の産学共著関係の変化<br>孫媛, 根岸正光（国立情報学研究所）   |
| 11:00～11:30 | 音楽評論論文にみる作曲家の感性的特徴<br>河瀬彰宏, 村井源, 往住彰文（東京工業大学大学院社会理工学研究科）                  | キーワード分析による環境関連研究の動向調査<br>西澤正己, 孫媛（国立情報学研究所）   |
| 11:30～12:00 | 計量分析による村上春樹文学の語彙構成と歴史的変遷<br>工藤彰, 村井源, 往住彰文（東京工業大学大学院社会理工学研究科）             |   |
| 12:00～12:40 | 総会  |   |
| 12:40～13:40 | お昼休み  |   |
| 13:40～14:20 | 論文賞表彰式 + 記念講演   |   |
| 14:20～14:30 | 休憩  |   |
|             | A-3「情報・知識と構造化（1）」   | B-3「データベース（1）」  |
| 14:30～15:00 | 資源供給情報を利用した耐熱材料の選択指針<br>芳須弘, 藤田充苗, 原田幸明（物質・材料研究機構）                        | 著者名典拠情報を拡充するための共同編集プラットフォーム<br>川島隆徳（東京工業大学大学院社会理工学研究科）, 研谷紀夫（東京大学大学院情報学環）                   |
| 15:00～15:30 | 学術俯瞰、特許俯瞰による商業化可能な技術要素の早期発見<br>柴田尚樹, 梶川裕矢, 坂田一郎（東京大学大学院工学系研究科）            | 聖教書誌情報全文検索システムのスタンドアロン化の試み<br>渡上将治, 村川猛彦（和歌山大学システム工学部）, 宇都宮啓吾（大阪大谷大学文学部）, 中川優（和歌山大学システム工学部） |
| 15:30～16:00 | 次世代電池における国際的共同研究の構造<br>佐々木一, 梶川裕矢, 坂田一郎（東京大学大学院工学系研究科）                    | EUC/EUD を前提とした文学研究システムのモデル化に関する考察<br>富澤浩樹（埼玉大学大学院文化科学研究科）                                   |
| 16:00～16:15 | 休憩  |   |
|             | A-4「情報・知識と構造化（2）」   | B-4「データベース（2）」  |
| 16:15～16:45 | カリキュラムの特徴抽出と時間割の要約生成<br>堀幸雄, 中山亮, 今井慈郎（香川大学）                              | MLA の記述規則に関する比較研究<br>鈴木良徳, 八重樫純樹（静岡大学情報学部）  |
| 16:45～17:15 | 社会的ニーズを踏まえた法律情報に対する知識構造マップの開発<br>川島啓, 大竹裕之, Adam Lobel, 山田建智（財団法人未来工学研究所） | 祭りデータベースモデルの研究調査<br>山野遼溪（筑波大学大学院図書館情報メディア研究科）, 八重樫純樹（静岡大学情報学部）                              |

プログラムは都合により、変更される場合があります。学会サイト上に掲載される最新のプログラムをご参照ください。

最終更新: 2010 年 4 月 14 日